

一般送配電業務における行為規制に関する  
基本ルール

2016年4月1日 施行

2020年10月1日 改定

東京電力パワーグリッド株式会社

## 【目次】

1	目 的.....	1
2	本ルールを適用する業務範囲.....	1
3	準拠法令等.....	1
4	用語の定義.....	1
5	責任と権限.....	2
6	情報の目的外利用又は提供の禁止.....	3
6.1	目的外利用又は提供の禁止.....	3
6.2	兼務の禁止.....	3
6.3	情報連絡窓口等.....	3
6.4	託送供給等業務に関する情報の取扱いについて.....	3
6.4.1	託送関連情報の取扱い.....	3
6.4.2	流通設備計画関連情報の取扱い.....	4
6.5	託送供給等業務に関する情報の管理.....	4
6.6	社外への情報開示.....	5
7	差別的取扱いの禁止.....	5
7.1	グループ内取引における取扱い.....	5
7.2	委受託の取扱い.....	6
8	情報管理体制.....	6
9	法令遵守体制.....	7

## 1 目的

本ルールは、一般送配電事業者が講じなければならない体制の整備その他電気供給事業者間の適正な競争関係を確保するために必要な措置を定めることにより、ネットワーク運営の中立性を確保するとともに、託送供給等業務に関して知り得た契約者・発電契約者・需要抑制契約者、発電者・需要者にかかわる情報の託送供給等業務および再生可能エネルギー電気の調達・供給に係る業務以外の目的のために利用又は提供をすることの禁止ならびに送配電等業務における差別的取扱いの禁止を定め、それら業務の公平性・透明性の確保を図ることを目的とする。

## 2 本ルールを適用する業務範囲

本ルールは、一般送配電業務について適用する。

## 3 準拠法令等

情報管理に関する法令等、また一般送配電業務を実施する上で遵守することが予定されている法令等を含めると極めて多岐にわたるため、ここではいわゆる行為規制に直接係る法令等のみを掲載する。

- ・ 電気事業法
- ・ 電気事業法施行規則
- ・ 適正な電力取引についての指針（公正取引委員会、経済産業省）
- ・ 系統情報の公表の考え方（資源エネルギー庁）

## 4 用語の定義

- ・ 託送供給等業務  
託送供給等業務とは、託送供給及び電力量調整供給の業務をいう。
- ・ 送配電等業務  
送配電等業務とは、託送供給等業務その他の変電、送電、配電に係る業務をいう。
- ・ 一般送配電業務  
一般送配電業務とは、送配電等業務その他の一般送配電事業の業務等をいう。
- ・ 託送関連情報  
託送関連情報とは、託送供給等業務で知り得た他の電気供給事業者及び電気の利用者に関する情報であって、他の事業者が知り得た場合に当該事業者の行動に影響を及ぼし得る情報をいう。
- ・ 非公開情報  
非公開情報とは、託送供給等業務に関する公表されていない情報であって、小売・発電事業に影響を及ぼし得る情報をいう。
- ・ 託送供給等部門  
託送供給等部門とは、託送供給等業務を行う部門をいう。
- ・ 監視部門

監視部門とは、一般送配電業務の実施状況を監視する部門をいう。

- ・ 小売部門

小売部門とは、小売供給業務を行う部門及び需要抑制にかかわる業務を行う部門をいう。

- ・ 発電部門

発電部門とは、発電設備に係わる業務を行う部門をいう。

- ・ 電力取引部門

電力取引部門とは、卸電力市場における供給力の調達・販売を行う部門をいう。

- ・ 特定関係事業者

特定関係事業者とは、東京電力パワーグリッド株式会社（以下「当社」という。）の子会社、HD、HDの子会社等のうち自己が小売電気事業若しくは発電事業を営む者又は当該小売電気事業若しくは発電事業を営む者の親会社等をいう。ただし、当社を除く。

- ・ 特殊の関係のある者

特殊の関係のある者とは、特定関係事業者の子会社、関連会社、特定関係事業者の主要株主基準値（20%）以上の数の議決権を保有する者をいう。ただし、当社を除く。

- ・ 契約者

契約者とは、託送供給等約款において定義された契約者、発電契約者及び需要抑制契約者の総称をいう（新規に契約を締結しようとしている者を含む）。

- ・ 発電者

発電者とは、託送供給等約款において定義された発電者をいい、新規に発電者になる予定の者を含むものとする。

- ・ 需要者

需要者とは、託送供給等約款において定義された需要者をいい、新規に需要者になる予定の者を含むものとする。

## 5 責任と権限

- ・ 一般送配電業務の管理総括責任者及び法令遵守責任者は、代表取締役社長とする。
- ・ 一般送配電業務の情報管理責任者は、業務統括室担当役員とする。
- ・ 送配電等業務における行為規制に関する管理責任者は、業務統括室長とする。

## 6 情報の目的外利用又は提供の禁止

### 6.1 目的外利用又は提供の禁止

託送関連情報について、託送供給等業務及び再生可能エネルギー電気の調達・供給に係る業務以外の目的のために利用又は提供することを禁止する。

### 6.2 兼務の禁止

託送供給等業務と特定関係事業者における発電部門・小売部門・電力取引部門の業務は明確に区別し、以下のとおり相互の兼務を禁止する。

- 託送供給等業務に携わる職員は特定関係事業者における発電部門・小売部門・電力取引部門の業務をしてはならない。
- 特定関係事業者における発電部門・小売部門・電力取引部門の職員は託送供給等業務をしてはならない。

ただし、託送供給等業務を行うために当該業務を特定関係事業者における発電部門・小売部門・電力取引部門の職員が行うことについて、当該契約者又は発電者若しくは需要者から同意が得られた場合、又は託送供給等部門と特定関係事業者における発電部門・小売部門・電力取引部門が連携して業務を行う以下の場合はこの限りではない。

- (1) 供給設備の事故や非常災害時等、緊急的に供給支障を解消する場合
- (2) その他 7.2 (委受託の取扱い) により委受託した業務を行う場合

### 6.3 情報連絡窓口等

- (1) 契約者との情報連絡窓口は、ネットワークサービスセンター（以下、「NSC」という）および中央給電指令所とする。ただし、発電契約者が発電者と同一の場合は、(2)の発電者に準じる。
- (2) 発電者・需要者との情報連絡窓口は、当該発電者・需要者を担当する支社窓口、当該発電者・需要者を担当する給電関連業務担当箇所及びコンタクトセンターとする。  
ただし、スイッチングに伴う需要家情報の照会等の窓口は、コンタクトセンターとする。

### 6.4 託送供給等業務に関する情報の取扱いについて

#### 6.4.1 託送関連情報の取扱い

託送関連情報の取扱いにおいては、原則として次の(1)～(5)に定める担当箇所限りとする。

ただし、託送供給等部門以外（特定関係事業者含む）に業務上依頼・伝達せざるを得ない場合、他の電気供給事業者や関連する発電所・電気使用者の名称等データを特定する必要のないものを符号化する等により、当該業務に必要な最小限の情報を必要な箇所に限り提供する。

なお、あらかじめ契約者又は発電者若しくは需要者に、当該情報を託送供給等部門以外（特定関係事業者含

む) に提供することについて同意を得ている場合には、この限りではない。

また、契約上第三者提供を禁じている情報については、当該契約の定めによる。

(1) 契約者名

NSC及び中央給電指令所限りとする。

ただし、発電契約者が発電者と同一の場合は、後述(5)の発電者の扱いに準じる。

(2) 契約に関する情報

契約者と締結した当該契約に関する情報は、NSC限りとする。

(3) 料金に関する情報

契約者と当該契約に付随して発生する料金に関する情報(支社にて算定する工事費負担金等を除く)は、NSC限りとする。

(4) スイッチングに伴う需要家情報照会履歴

コンタクトセンター限りとする。

(5) 発電者・需要者情報の取扱い

託送供給等業務に関して知り得た情報は、当社限りとする。

ただし、申込前における新設の発電者名称については、NSC限りとする。

(6) 再生可能エネルギーに関して

再生可能エネルギー電気の調達に関して知り得た発電者に関する情報は託送供給等部門限りとする。(託送供給等部門内では符号化等は不要)

#### 6.4.2 流通設備計画関連情報の取扱い

流通設備の将来計画策定のために、契約者から電力広域的運営推進機関を通じてNSCへ提供された将来計画情報(需要動向等)及び基幹系統に関する計画情報は、流通設備計画業務担当箇所限りとする。

#### 6.5 託送供給等業務に関する情報の管理

(1) 文書・データの管理

託送供給等業務に関する情報の記載のある文書・データは、「7.4 託送供給等業務に関する情報の取扱いについて」に従い、各箇所にて厳正に管理し、以下の文書・データは、個人情報の保護に関する基本マニュアル(PM-45)に定める重要度に従い、原則として、当該箇所にて施錠管理する。

- ① 「7.4.1 託送関連情報の取扱い」により、NSCおよび中央給電指令所の有する契約者に関する情報について記載のある文書・データ
- ② 発電者の受電側接続検討に関する情報について記載のある文書・データ
- ③ 需要者の供給側事前協議に関する情報について記載のある文書・データ
- ④ 需要者の供給側接続事前検討に関する情報について記載のある文書・データ
- ⑤ 「7.4.2 流通計画関連情報の取扱い」により、NSC及び流通設備計画業務担当箇所の有する将来計画情報(需要動向等)及び基幹系統に関する計画情報について記載のある文書・データ

(2) 情報管理の物理的対策

当社と特定関係事業者の業務の用に供する室は、別フロアにする等により物理的隔絶を担保し入室制限等を行うものとする。なお、必要に応じて、当社の業務の用に供する室の音漏れがない措置を取るものと

する。

### (3) システムの管理

託送供給等部門が取り扱う非公開情報の管理の用に供するシステムについては、アクセス管理等により、特定関係事業者と共用しないものとし、「7.4 託送供給等業務に関する情報の取扱いについて」に示す取扱い以外の取扱いができないシステムとする。

なお、当該システムにあつては、非公開情報を入力した者、内容及び日時等を記録し、5年間保存するものとする。

ただし、入退室記録等により特定の時間帯に非公開情報の管理の用に供するシステムを操作し得る者が限定可能な場合にあつては、当該入退室記録をもってその記録とする。

### (4) 取引及び連絡調整の経緯等の記録と保存

契約者との情報連絡窓口箇所は、託送供給等業務において、契約者との取引及び連絡調整の経緯及びその内容を記録し、5年間保存するものとする。ただし、日常的な問い合わせへの対応等、その取引及び連絡調整の経緯等が軽微なものであるときは、この限りではない。

## 6.6 社外への情報開示

(1) 託送供給等業務を遂行するため、託送供給等業務に関する情報を社外（官公庁等も含む）へ開示する必要がある場合、必要最小限の情報を必要な箇所に限り提供する。

(2) NSCは、社外への情報開示について、原則として、託送供給等に関する契約を締結する時に、契約者の了解を得ることとする。

なお、契約者が希望する場合等、必要に応じ、情報開示を行う前に個別に契約者の了解を得ることとする。

(3) 上記以外の個人情報の第三者提供に関する事項は、「個人情報の保護に関する規程・基本マニュアル」類による。

## 7 差別的取扱いの禁止

送配電等業務において、特定の契約者、発電者・需要者に対し、不当に優先的な取扱いをし、若しくは利益を与え、又は不当に不利な取扱いをし、若しくは不利益を与えてはならない。

### 7.1 グループ内取引における取扱い

通常の取引の条件と異なる条件であつて電気供給事業者間の適正な競争関係を阻害するおそれのある条件により、特定関係事業者及び特殊の関係のある者と取引を行わない。

## 7.2 委受託の取扱い

### (1) 特定関係事業者から小売電気事業又は発電事業の業務を受託する場合

特定関係事業者の小売電気事業又は発電事業の業務を行う場合は、合理的な範囲において、委託に応じることが可能な業務を公表した上で、次の条件のいずれかに該当する場合に限り、その小売電気事業又は発電事業の業務を受託するものとする。

- 災害その他非常の場合において、やむを得ない一時的な受託としてする場合
- 業務を受託するか否かの判断及び受託に係る業務が、特定の電気供給事業者に対し、不当に優先的な取扱いをし、若しくは利益を与え、又は、不当に不利な取扱いをし、若しくは不利益を与えることができるものでない場合

### (2) 特定関係事業者又は当該特定関係事業者の子会社等に送配電等業務を委託する場合

特定関係事業者又は特定関係事業者の子会社等に送配電等業務を委託する場合には、次の条件のいずれかに該当する場合に限り、その送配電等業務の委託を実施するものとする。

- 災害その他非常の場合において、やむを得ない一時的な委託としてする場合
- 業務を受託する者が委託をしようとする一般送配電事業者の子会社（当該一般送配電事業者の特定関係事業者又は当該特定関係事業者の子会社等（当該一般送電事業者を介在させることなく、その財務及び事業の方針の決定を支配するものに限る）に該当するものを除く。）である場合
- 前述に該当する場合のほか、以下のいずれにも該当しない場合
  - ・ 非公開情報を取り扱う業務を委託する場合
  - ・ 小売電気事業者又は発電事業者に影響を及ぼし得る業務を委託する場合であって、受託者の裁量の余地がない業務であることが明白でない業務を委託するとき
  - ・ 受託者を公募することなく業務を委託することが、当該委託に係る業務の性質その他事情に照らして、合理的な理由を欠く場合

### (3) 最終保障供給又は離島供給の業務を委託する場合

最終保障供給又は離島供給の業務について、受託者を公募することなく、特定関係事業者へ委託してはいいない。ただし、災害その他非常の場合におけるやむを得ない一時的な委託は除く。

## 8 情報管理体制

### (1) 規程の整備

一般送配電業務に関する情報の入手、利用、提供その他の取扱いについて、これを適正なものとするために役職員（取締役及び従業者であった者を含む。）が遵守すべき事項は、「情報事務取扱規程」によるものとする。

### (2) 情報管理責任者の責任と役割

情報管理責任者が、その情報事務総括責任者として果たす役割は、以下のとおりとする。

- 情報事務取扱に関する総括責任
- 情報事務取扱について、上記規程に則った業務運営を整備する責任
- 情報事務取扱規程にかかる制改定の責任
- 業務運営状況の確認を行う責任

○ 業務運営状況の確認結果をHDに報告する責任

(3) 研修の実施

一般送配電業務に関する情報の入手, 利用, 提供その他の取扱いについて, これを適正なものとするため, 役職員に対し定期的に必要な研修を実施するものとする。

(4) 監視部門による監視

監視部門は, 一般送配電業務に関する情報の取扱いが適正であるかどうか定期的に監査するものとし, その監視結果を, 常務会に報告するものとする。

## 9 法令遵守体制

(1) 法令遵守責任者の責任と役割

法令遵守責任者は, 一般送配電業務が法令等に適合することを確保するための規程等及び計画を整備し, 及び運用すること並びにその業務執行の状況の監視を行う。

(2) 監視部門による監視

監視部門は, 一般送配電業務に関する運営及び内容が法令等を遵守するものであるかどうか定期的に監査するものとし, その監視結果を, 常務会に報告するものとする。

以上

©東京電力パワーグリッド株式会社